

SKILL UP!

スキルアップ⁰ 特別編
講座

国内屈指の高校ラグビー熱狂地帯である。
いつも全国トップクラスに君臨する東福岡高校を頂点に、
公立高校の追走者たちがひしめき合う福岡県。
8月28日、同県の強豪4校の指導者たちが集まる機会があった。
当日は「九州地区公立学校教頭会研究大会」の記念講演として、
情熱溢れるコーチたちが座談会スタイルで、それぞれの指導論や思想を熱弁。
ラグビーを通しての教育や、人間形成につながる高校生たちとの付き合い方は、
とても愉快で刺激的な内容だった。
司会者として、4人の魅力を引き出した松瀬学氏が、当日のトーク内容を2回にわけて紹介する。
指導者必読、だ。

文▶松瀬 学

福岡県高校ラグビー 指導の根底には愛。

4監督トーク その①

毎年、花園予選・福岡県大会決勝が行われる
レベルファイブスタジアム。いつも熱戦



今春、57年ぶりに福岡を制した修猷館は九州大会でも準優勝。県大会では東福岡を破る大金星も挙げた。

ラグビーのある人生でよかった。晩夏の九州は福岡。高校ラグビー部の4監督の味わい深いトークセッションを聞いて、つくづくそう思った。山笠の熱気が残る博多の夏はよかねえ。山笠とおなじく「チームワーク」を旨とするラグビーもいい。

九州地区公立学校教頭会研究大会の記念講演が福岡国際会議場で開かれた。座談会スタイルで、九州を代表する高校ラグビーの4人、福岡高校の森重隆監督と東福岡高校の藤田雄一郎監督、筑紫高校の西村寛久・前監督、修猷館高校の渡邊康宏監督が壇上に並んだ。

テーマが「原石を育てる」ONE FOR ALL。「オモシロくてためになる」をコンセプトに2時間、聴衆は2000人ほどの九州の小・中学校の教頭先生たちだった。

4人の言葉には、ラグビーと生徒たちの愛情に満ちていた。それぞれがスポーツから学んだものは、新日鐵釜石時代に日本選手権V7に貢献した森監督が「周りが喜んでくれることの喜び」だった。

「いろんなことをラグビーから教わったけれど、ひとつだけ挙げるといわれれば、日本選手権で優勝して凱旋したら、冬のひびく寒い中、釜石の人たちが喜んでくれた。人口6万のうち、1万人ぐらゐが優勝パレードに集まった。自分たちがやったことに喜んでくれる人たちがいる。崇高なことだあって。これが僕の人生のベースです」

東福岡の藤田監督は「縁とありがたさ」、修猷の渡邊監督は「達成感を味わうための理不尽さ」、筑紫の監督をしていた西村・前監督は「自己犠牲の精神」だった。



森 重隆

[福岡高校 監督]

もり・しげたか▶1951年11月6日生まれ、62歳。福岡高校から明治大学に進み、日本選手権7連覇の新日鐵釜石でCTB、主将として活躍する。日本代表でも主将を務めるなど国際舞台でプレーし、日本代表キャップ28を持つ。

森監督は62歳。藤田監督が41歳、渡邊監督51歳、西村・前監督48歳。西村・前監督は4月から、福岡県教育庁に勤務している。福岡ラグビー部は大正13（1924）年創部の名門で、男子校の東福岡は過去、花園の全国大会で4度優勝し、ことは春の選抜大会、7人制全国大会も制している。校風はバシカラ。

大正14（1925）年創部の修猷は有名進学校で「質実剛健」「自由闊達」「独立自尊」を尊び、筑紫は筋金入りの「厳しさ」で毎年、強豪チームを作っている。

「切磋琢磨」「小事大事」「支える」「信頼」

指導のとき、一番大事にしているものは何ですか。森「切磋琢磨。選手も士気、チームも士気。福岡のレベルが高いのは、互いをリスペクトし、競い合っているからだと思ふ。生徒たちも仲良く、先生たちも仲良くけんねえ」



渡邊康宏

[修猷館高校 監督]

わたなべ・やすひろ▶1963年8月4日生まれ、51歳。修猷館高校→東京学芸大学。以前は、筑前高校や東筑高校などでラグビー部の指導にあたった。現役時代のポジションはNO8

藤田「小事大事です。規律なき一流集団は、統率された二流集団には勝てない」という言葉があります。うちは中学時代のトップレベルの選手を預かっているの、こころ、小さなことをおろそかにしないということ大事にしています」

くまなことがあったら、好きなラグビーも嫌いになるかもしれない。彼らが上を向けるよう、自尊心をかきたてることができるような指導を心掛けています」

西村「信頼です。ラグビー部の生徒さんから信頼されるのは当然なんです。前提として、一般の生徒、先生方、保護者、そういったラグビー以外の方々からも、信頼していただくことを念頭においています。ラグビー部以外から信頼を得ることで、ラグビー部員の信頼も得られるんじゃないかと考えております」

「グッド・コーチは、グッド・オブザーバー（観察者）」というコトバがあります。つまり、指導者は人を見る目が大事です。将来、伸びる子はひと目みたらわかりますか。渡邊「わかります。自分がそう信じないとやっていられません。言葉の掛け具合も変わってくるでしょう。一番、生徒に近い存在として、この子は伸びると信じて指導しています。最終的には、私のレベルよりもっと上のレベルにいつてもういたいと思ふ」

森「伸びるヤツはわからんけど、ダメなヤツはわかる（爆笑）。例えば、ラグビーのプレーヤーとして勇気がないとか、気が付かないとか。思いやりがないとか。そういう子はダメでしょ。指導はしますが、変わらんよ。生徒にもオマエの悪いところはこころ、とはっきり言います」

藤田「才能がわかるというか、伸びる子には2つのことがあると思ひます。ひとつは人の話を聞く子です。一回聞いて、やってみて、いいか悪いか、自分で判断できる子、修正できる子が伸びるのです。もうひとつは、努力し続けることができる子です。努力したから、必ず結果が出るというものじゃないけれど、結果が出る権利を持っているんです。結果は、レギュラーになるとか、試合に勝つこと。ひと目みたら、その子が、人の話を聞く子か、努力する子かはだいたい、わかります」

子ども才能を見誤ったことはあります。森「それは、たくさんある。コイツはラグビーに向いてないと思つた子が、大学に行くと、レギュラーになったりする。それはあまり強くない大学ですけど（笑）。絶対、大学ではやらないと思つていたら、大学にいつて、またラグビーをやる。これも、見誤ったということでしょう」

短所は気にしない。それも長所のひとつ。

岡高の福岡君。おぼえやすいですよ。短所は怪我をすることだった。長所は「こった。群を抜いていました。足の速さとか、力の強さとか。あれは持って生まれたものでしょ」

「落ちこぼれというか、カラダや心の弱い子はいませんか。森「レギュラーになるのがすべてじゃないという教え方をせなあかん。例えリザーブでも、2軍になっても、部に関わって、それが1軍のチカラになるという指導をします」

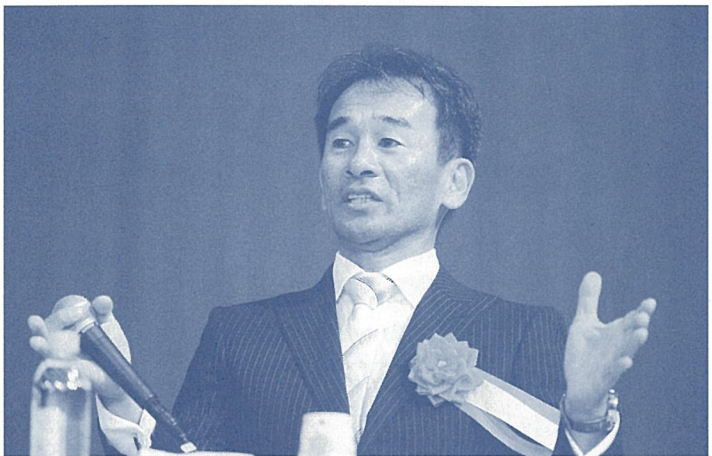
西村「また森さんにウソつきと言われそうですけど、私はそういう子を大事にします。グラウンドで力が通用しない子がいても、掃除をすることで、一生懸命に勉強をすることで、人に気をつかうとか、グラウンド外のいいことをやる子がいたら、そこをきつと見て、みんなの前で褒めてあげます。その子の存在価値を高めてあげます。レギュラーには優しく怒ったりしますが、弱い子にはマンツーマンで丁寧に指導します。話をするときも、レギュラーではなく、補欠の子たちがどういう表情をしているのか、すごく気になります」

「ラグビー部にも『いじめ』はあるのですか。森「わっからんね。ただね、この3人がいいのは、根底に愛があることよ。西村先生の言葉は汚くて、激しんですけど、そこに愛があるんですよ。渡邊先生も藤田先生も「緒ぞこがチームの強さじゃないですか。子どもたちは納得しとるよ、彼らの指導を」

森「いや。愛というか、オレは面倒見がいいだけ（爆笑）」

「そう。伸びる子でいえば、必ず闘争心もあるでしょ。藤田「そうですね。東福岡は部員が120人いるので、25人の登録メンバーに入るためには闘争心、向上心がないとダメでしょう。自分は短所も長所じゃないかなと思っっています。不器用が力になる。パスやキック、ランと平均点の子よりも、不器用でも、抜群に何かができる子のほうが伸びていくと思います」

闘争心で言えば、渡邊監督の闘争本能は突き抜けていた。東京学芸大藤田「社会で一番必要な能力は、ストレスコントロールだと思います。どこにでもストレスはあります。ラグビーも15人とチームの選手が多いスポーツなので、ストレスをコントロールする能力が大事だと思っんです。ストレスをうまくコントロールできない選手はトップに上がれない、社会に出てダメでしょう。私は大学卒業後、JR九州で3年間サラリーマンをしました。そこで学



西村寛久 [筑紫高校 前監督]

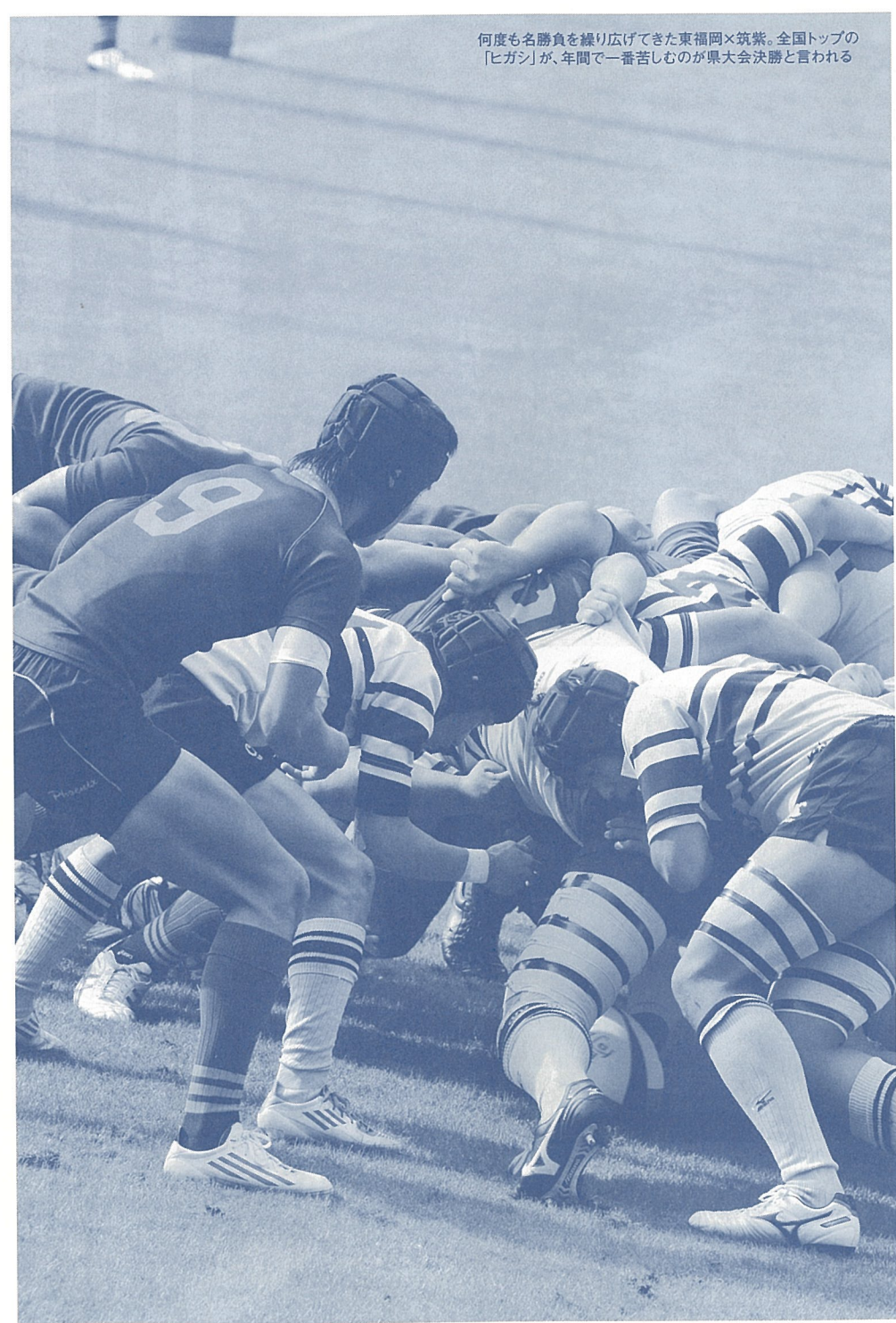
にしむら・ひろひさ▶1965年10月15日生まれ、48歳。筑紫高校→日本体育大学。大学卒業後、筑紫高校で講師を務めて1年間コーチを経験。その後、香椎工業高校で監督を務めた。'94年度から昨年度まで筑紫高校監督。現在は福岡県教育庁に勤務。現役時代のポジションはWTB。

4年のときの公式戦で猛タックルに入って、相手の歯を5本折って退場させた。自身は最後までプレーしたが、気分が悪いので、試合後、病院に行った。自身の額に相手の歯が突き刺さっていた。

「本当ですか。渡邊「本当です。授業でもネタにします。僕はSH。あのときはマウスピースの義務がなくて、相手は口を開けてきて、ぶつかったら、歯が刺さったんです。CTスキャンで歯が写っていました。その試合の次の週が教員採用の2次試験で、面接でぐるぐる巻きの頭の包帯の説明を20分したら、合格しました」

「歯が頭に突きさされれば、普通はわかるでしょ。渡邊「わからなかったですね。夢中

「闘争心注入たい」



何度も名勝負を繰り広げてきた東福岡×筑紫。全国トップの「ヒガシ」が、年間で一番苦しいのが県大会決勝と言われる



藤田雄一郎 [東福岡高校 監督]

ふじた・ゆういちろう▶1972年10月17日生まれ、41歳。東福岡高校→福岡大学。大学卒業後、JR九州を経て1997年から教諭として東福岡高校に赴任。谷崎重幸前監督の下でコーチを務め、4回の花園優勝をはじめチームを数々の栄冠へと導いた。'12年春から監督に就任。監督としての全国選抜大会制覇は'12年度以来今春で2回目。現役時代のポジションはNO8

「大事なこととは闘争心のある子をどう育てるかですね。森「それと、痛がらない子ね。すぐ泣くやつがおる。そりゃ、指の骨が折れたら痛いんですよ。でもぐつと我慢する子がいたら、ギヤァ〜と泣き叫ぶ子もいる。このギヤァ〜と泣き叫ぶ子もダメ（爆笑）。人前で大泣きするやつはダメでしょ。兵庫県の県議会議員と一緒に、人間として、ダメよ、もう（爆笑）」

「最近、泣く子、多いでしょ。森「泣くね。こそこそ泣くのはいいけど、僕は現役時代、ラグビーのモチベーションを無くしたのは、恐怖心が消えたから。恐怖心が最大のモチベーションだった。コワイよ、大きい選手がきたら。恐怖心と闘争心は表裏一体。恐怖心が闘争心に変わるのだと思っ」

「ラグビーでも勉強でも闘争心がある子は伸びると思います。それが表に出てくるかどうかというのはありますが、ラグビーは格闘技なので、それが前面に出てこないダメでしたから」

「闘争心がないまま試合をするとか、勝負には負けます。闘争心を植え付けるのは、チームへの責任感や使命感を強調していくしかないでしょう」

「闘争心で言えば、渡邊監督の闘争本能は突き抜けていた。東京学芸大藤田「社会で一番必要な能力は、ストレスコントロールだと思います。どこにでもストレスはあります。ラグビーも15人とチームの選手が多いスポーツなので、ストレスをコントロールする能力が大事だと思っんです。ストレスをうまくコントロールできない選手はトップに上がれない、社会に出てダメでしょう。私は大学卒業後、JR九州で3年間サラリーマンをしました。そこで学

「ラグビーと山笠の共通項。猛タックルは博多の風土。森「タックルは大切です。ただタックルにも恐怖心がある。こわい。でも、行く。タックルをしないと、仲

ていくし、3年間の伸びしろが見えてきます」
 —そうだ。藤田さんは山笠の追い山の山車を担いでいるんですね。福岡の選手がタックルがいいのは、山笠があるから、じゃないですか。ほら、山笠も一人でもさぼったら、

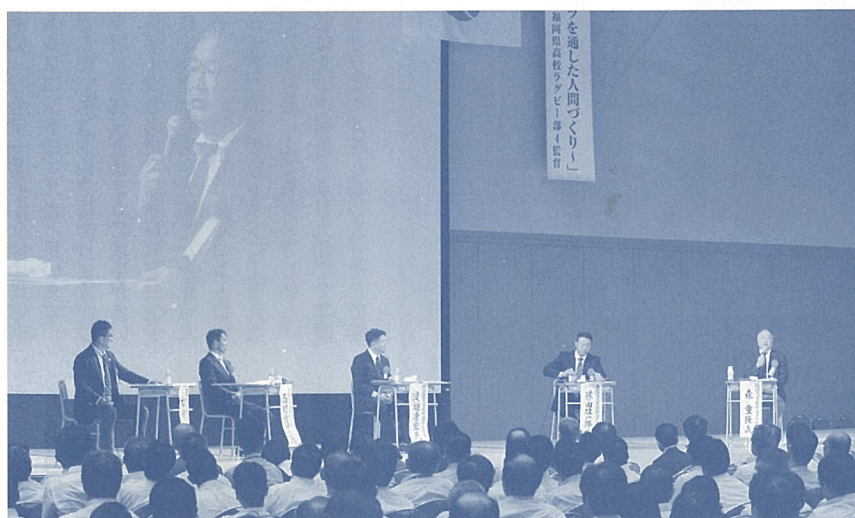
山が崩れてしまうでしょ。藤田「そうですね。朝早く起これ、水をかけられ、『走れ』と怒られる。不合理な祭りなんです。肩も痛くなる。綱引きと同じ原理でなんですけど、力が強いチームが勝つわけじゃない。もついいかなと誰かひとり

手を抜いたら、負けちゃう。山がどんと落ちる。山笠もラグビーも、一人でも協調性に欠ける、一人でも手綱を緩めるとうまくいかない祭りなんです」
 森「ちょっと質問。闘争心を養うことというのはどうするわけ。自分が悩んでいたテーマなんだ。闘争心ないヤツがいるわけよ。『もう、やりたくな〜い』みたいな。オレは、生徒を集めて、ラグビーで相手に手を踏まれたら、痛いと思う前に、相手を『このやる〜』とにらめと指導する。でも、生徒がやってきて、やっぱり痛い方が先ですって(爆笑)。そりや

そうだけだ。どうしたら闘争心のないヤツに闘争心が出てくるの? これ、教わったら、もう修験も筑紫も屈よ(爆笑)」
 西村「それは難しい問題です。持つて生まれたものもある。私は責任感というところからアプローチします。それを果たそうとすると闘争心が必要になる。だから、FWとして、バックスとして、あるいは筑紫生として、人間として、責任を果たそうよと。闘争心ないから、また元に戻っちゃう。また弱気になる。また重ね重ね、しつこくやっていくしかないですね」



福岡高校は2010年度の第90回全国高校大会で花園に出場。1回戦の本郷戦で勝利も挙げた。節目の記念大会により、福岡県から2校出場の年だった



4監督の深い話に、会場を埋め尽くした多くの教頭先生たちも感激

森「そういうことよ。西村先生の話の聞いた、思わず、頷きたくなるねえ」
 —頑張る力は大切ですね。ところで、突飛ながら、選手たちは異性に応援されるのががんばるものでしょうか。藤田「それは、頑張るんじゃないですか。他の方に聞きたい。女子を指導するにあたって、どういふことを注意すればいいのでしょうか」
 森「うちは女子部員が5人います。リオ五輪に男女のラグビーが採用されたこ



高校ラグビーが根付いている福岡。あちこちの会場に、熱心なファンが足を運ぶ

ともあって、日本協会が女子部員の強化を推進するようになりました。どんな練習をしているかという、男子とまったく一緒です。この前、阿蘇で合宿をやったら、マラソンは女子の方が速いみたい。ヘッドキヤップかぶったら、男子も女子も分からんから、女子に試合に出るかって言いたくなりますよ」
 渡邊「うちにも一人います。体力的な差があって、試合には出せませんが、女の子が平気で『気合いが入った』と『うそ』と言いますね。練習で、オマエは危ないから外れとけ、と言ったら、オナナの子は泣くもんね。その練習にも参加したいと。根性がありますよ」
 西村「筑紫にも5、6人、いますよ。そもそも論として、男子でも避けるようなスポーツを女子がやってくれる。もう、それだけで嬉しくなります」

(来月号に続く)

SKILL UP!

スキルアップ⁰ 特別編
講座

森 重隆
[福岡高校監督]

渡邊康宏
[修猷館高校監督]

福岡県高校ラグビー 4監督トーク その②

根底に愛。人を作る。

藤田雄一郎
[東福岡高校監督]

西村寛久
[筑紫高校前監督]

先月号に続き、指導者必読のページである。指導者たちの金言が溢れている。いつも全国トップクラスに君臨する東福岡高校を頂点に、公立高校の追走者たちがひしめき合う福岡県。同県の強豪4校の指導者たちが集まる機会があった(8月28日)。「九州地区公立学校教頭会研究大会」の記念講演として開催された、情熱溢れるコーチたちのトークタイム。今月の内容も、温かい。

文・松瀬 学

プロセスでは絶対に勝てる。修猷館にはヒガシを倒した責任あり。

——さて、チーム作りの話です。勝つことがあれば、負けることもあります。負けから学ぶことも多いのでしょうか？

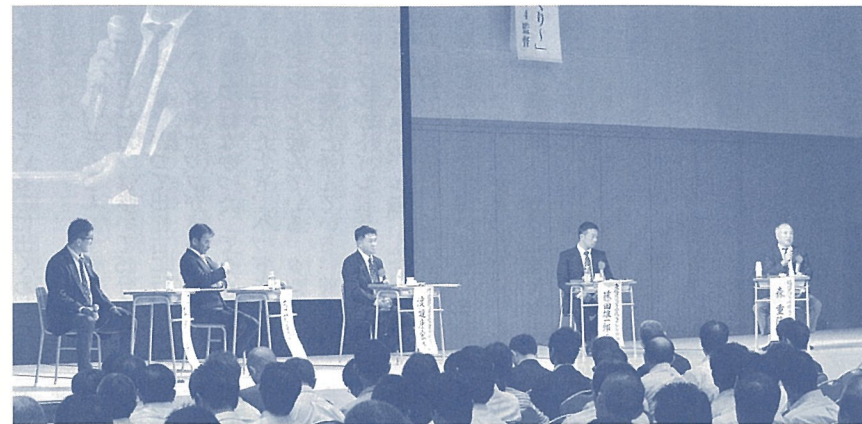
渡邊「県大会で万年ベスト8の時期がありました。そうなるって、ひとつの大会で2試合しかできません。でも、シード校を破れば、『あの時のこのプレーでどげんしたやろ』と言うことができる。やっぱり負けより勝ちでしょう。上のレベルを経験すると、新たな課題も生まれます。勝つことによって教材が増え、学ぶことも増えてくるのです」

——負けはあまり、意味がない？

渡邊「そういう意味ではありません。今年の2月の新人大会では小倉高校と対戦し、24-0でリードしていたのに、24-26で逆転負けを喫しました。前半が19-0で、ハーフタイムのとき、『後半の頭にあと1本トライをとったら勝負が決まる』みたいなことを言っていました。で、後半すぐトライをとって、24-0で選手を二人替えました。13人のプレーがゆるくなって、魂のこもった小倉のタックルにやられて、ロスタイムに逆転されました。その敗戦で多くを学んで、努力して、6月に東福岡に勝たせてもらった。要は積み重ねたつたのかなと思います」

——藤田さん、修猷に負けて、チームは変わりましたか？

藤田「そうですね。うちが修猷に負けたら、福岡県がこんなに喜ぶんだって学びました(爆笑)。やはり勝



森 重隆
[福岡高校監督]

渡邊康宏
[修猷館高校監督]

西村寛久
[筑紫高校前監督]

藤田雄一郎
[東福岡高校監督]

森「以前、春の大会の決勝で筑紫がヒガシに0-90ぐらいで負けた。それが、その年の全国大会の県予選の決勝では2点差までなったことがあった。俺、ビックリしたもん。あの

時から、おれは西村先生、尊敬しますもん。俺もグラウンドで怒るかな、って」

西村「その試合まではダメだったということでしょうか」

森「いや。まあまあ。90回の記念大会では、うちが全国大会に出場できた。その時は福岡県から2校出られました。うちが福岡堅樹とかいて、たまたま強かった。県予選のプロック決勝で当たったのが筑紫でした。その時、修猷なんて下の方だったんです(笑)。筑紫も(例年ほど)強くなかった。その節は西村先生、ありがとございました」

西村「はい。嫁にも『アナタはどこまで人がいい』と言われました」

——ところで、生徒とのコミュニケーションって難しいですか？

森「うちは大丈夫でしょ。OB会のカネで生徒を焼肉を食べに連れていくから。コミュニケーションがどうかわかんけど、言葉の端々で信頼されているのは感じます」

——交換ノートとかしているのでしょうか？

西村「うちは一応していました。そう頻繁ではありませんが。例えば、学校行事が終わったとき、どのくらい学校に貢献できたかと書かせたりしました。ポイント、ポイントでアドバイスをするためです」

森「今は便利なLINEがあるじゃない。グループで、監督や部長、コーチも一緒にしとる。コーチは土日しかグラウンドに来られませんが、練習の情報の共有とか、もう便利になったなあと思います」

——トラブルとかないですか？

森「それは、変な使い方をしなければいい。LINEはともかく、だい

